

令和4年6月6日発行

ふる里からの  
「ふるろだより」  
6月号

今年の指針  
“常に”



あかるく やわらかく やさしく

社会福祉法人 隆明会  
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地  
TEL (0957) 27-4500  
FAX (0957) 27-4501

HP検索：[デイサービスセンターふる里](#)



「品 爽やかに・素敵に盛り上がった行事 楽」

5月は、『鯉(こい)するコンサート』と題して、デイサービスセンターふる里で月一回の恒例行事が開催されました。5月17日(火曜日)から19日(木曜日)までの三日間盛大に開催されました。担当の職員は、当初は中庭を使って、青空の下での計画だったのですが、『湖畔の宿ふる里』に入居されている方もお呼びして大勢で楽しみたいとの気持ちがあったので、フロアでの開催となりました。計画する段階で『鯉(こい)するコンサート』との題名が私はとても気に入りました。“鯉する”を“恋する”にかけたことが『粋だなあ!』と。

そもそも“鯉”と“恋”という言葉には、恋愛に関係するものがあるようです。『日本書紀』という奈良時代、養老4年(720年)に完成したと伝わる日本の歴史書があります。その書の中に景行天皇というお方がいて、『景行天皇が、美濃(岐阜県)に行幸されて、そこで弟媛(おとひめ)という美女の噂を聞きつけました。その弟媛を娶(めと)ろうとして訪問されたのですが、弟媛は竹林に隠れてしまわれました。景行天皇は、一計を案じて、朝夕に池に鯉を放して遊んだわけです。すると、その様子を一目見ようと、弟媛が景行天皇の前に現れました。そこで「お前を私の妻にしたい」と述べるのですが、弟媛は「自分は性的なことが苦手だし…」とか何とか言って、景行天皇の求めを拒みました。』というお話です。胸がキュンとなるようなお話ですが、実際にこの物語から、日本では古来から男女は対等という考えであり、女性は大切な国の宝とされてきたのです。因みに我が国で、“恋”のことを「こい」と呼ぶようになったのは、この景行天皇の逸話がもとになっているのだとか。恋は男女対等!あたりまのことですが、とっても素敵・大事なことです。

5月の行事は、洒落た言葉を使った担当の職員の独創的な考え、それが、三日間の行事の新鮮さを皆さんに味わわせる事になったようです。終わった時、気持ちに爽やかさを感じました。大満足の行事でした。参加して下さった音楽のプロ集団の皆様は、観客の私たち以上に楽しまれ満足して帰られたようです。後日お聞きしたのですが、初めてふる里に来られて演奏されたグループの方が、皆さん一様に「またふる里で演奏会をやりたい。」とおっしゃったとのことでした。

6月になりました。こんな言葉に出会いました。「雨の日に傘で片手が塞がるのは、晴れた日にその手を誰かに差し伸べるためである。」と。こんな話に出会いました。人間の身体は左右対称になっていますが、この言葉から、片方は自分の為に、もう一方は隣の方々のために存在しているのでしょうか。有り難い言葉に出逢えました。常に隣や周りのよろこびを考えて今を生きる。

センター長 森 隆敏

# 5月行事



5月行事は“鯉”と“恋”をかけて、「鯉するコンサート」というタイトルで3日間行いました。5月の爽やかな風に乗りに心地よく、また心躍らせて音楽を楽しみました。1日目の「**かなで音楽宅急便様**」。鮮やかな衣装で登場。キーボードとカホンと呼ばれる木の箱で作られた珍しい楽器の演奏、それに素敵な歌声で最高でした。利用者様がとてもノリノリのコンサートでした。2日目は「**長岡ヒロバンド様**」。ギターやウクレレ、オカリナと、多くの種類の楽器を使っでの演奏でした。特にウクレレに合わせてのハワイの曲“アロハオエ”などは、心がウキウキする音楽で、利用者様も口ずさまれて、最後には大合唱の空間が出来ていました。最終日は、「**オカリナフレンズ様**」と「**アンサンブルチェロ様**」が来られました。どちらのグループも長崎県各地で演奏などを行われており、忙しい中来て頂きました。前半は「**オカリナフレンズ様**」の演奏。童謡唱歌の“茶摘み”や“かあさんの歌”など、オカリナの心地よい音色を響かせて下さいました。利用者様も聞き入っておられました。後半は「**アンサンブルチェロ様**」。チェロによる演奏が行われ、“エーデルワイス”や“北の国から”、“星に願いを”そして、オーストリアの国家や、有名な映画音楽、さらにディズニーの作品の曲など、いろいろなジャンルの音楽を聞かせて頂きました。演奏はとても品のある重低音の響きで、とても心地よい空気を作り出して下さいました。演奏後に、実際にチェロに触らせてもらえる事になり、お二人の利用者様が参加され、とても嬉しそうに参加されていました。



「**かなで音楽宅急便様**」



「**長岡ヒロバンド様**」



「**オカリナフレンズ様**」



## ちまき作りとめぐみ会様

5月は行事やちまき作り、めぐみ会様の踊りの訪問がありました。ちまき作りはボランティアで浦池常子様にご指導して頂きました。「昔取った杵柄」。利用者の皆様も慣れた手つきで“さすが！”でした。出来上がったちまきは、おやつの時黄粉をつけて食べました。皆さん大好評でした。めぐみ会様の訪問ボランティアは、傘や扇をつかった華やかな踊りが素晴らしく綺麗で強く印象に残っています。利用者様も手拍子を交えて楽しまれていました。もちろん最後には職員も一緒に舞台上がって踊りました。

行事担当 田口 真一、小田 麗子



## 鯉三味の行事食でした♪



かしわ餅



チーズバナナマフィン



いちごムース

## 訪問ボランティア

今回のおはなしの部屋は「あめふりうります」と「金太郎」の2話を話されました。最初の「あめふりうります」は「猫が顔を洗うと雨が降る」と昔から言われている事ですが、この村の猫のねこきちは、顔を洗うのも面倒というぐうたら猫の話。次の物語は、皆様ご存じの「金太郎」。山で一番強いクマと戦って勝った後、クマは勿論他の動物たちも仲良くなって後に金太郎は、坂田金時と名を改め立派な武士になりました。いつも楽しいお話を有難うございます。



# 居宅介護サービスセンター ふる里

## 【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行いケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



## 六月の行事予定

◆ふる里 6月行事 『しぜんとあそぼっ!』  
6月14日(火)・15日(水)・16日(木)

◆生花教室 ~齊藤マサミ先生~ 9日(木)・25日(土)

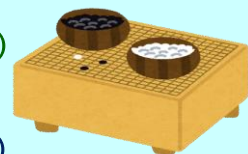
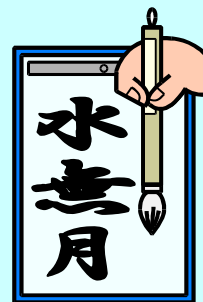
◆書道教室 ~中村朱実先生~ 13日(土)・30日(木)

◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 22日(水)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 21日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁… 毎週水曜日午後  
(8日、15日、22日、29日予定)



## ~5月の趣味活動の作品~



書道教室



押し花教室



生け花教室

6月は暑い日が続くようになり、地域によっては梅雨が始まります。日中は半袖でも汗が出る日もあります。そしていまだに猛威をふるっているコロナウイルスもなかなか収束せず大村市も3桁になる日もありました。ふる里は今月も暑さやウイルスに負けないで、元気いっぱい明るく頑張ってください。6月の行事計画が進んでおりますご期待下さい。利用者様も体調を万全にしてご参加ください！

編集後記 田口 真一